

# 友達を意識しながら楽しく園生活を送るようになる幼児の育成 — 観察や記録写真、教師間の情報等を基にした幼児理解を通して —

特別研修員 幼児教育 阿久津 智美 (幼稚園教諭)

## 幼児の実態

- ・様々なことへ興味・関心を抱いていたり、自分の好きな遊びに集中して取り組んだりする幼児が多い。
- ・自分の思い通りにならないことがあったり、友達に思いを伝えたいが伝わらなかったりする経験をしている。



## 教師の願い

- ・周囲の友達に目を向けてほしい。
- ・友達にも思いがあることに気付いてほしい。
- ・自分の思いを、相手に分かるように伝えられるようになってほしい。



## 手立て1 幼児理解のための情報収集 (保育中の観察・写真、他の教師等からの情報)

- ・情報収集の視点：幼児が何に関心を抱いているのか、何をおもしろいと感じているのか
- ・情報収集の場：保育中、毎日の保育終了後

## 手立て2 収集した情報の記録と考察

- ・収集した情報 → 日案や個別の記録簿等に記録・整理し、考察する
- ・考察 → 翌日の環境の構成を工夫する

### 情報収集

A児は、自分の思いや考えをもっている。困ったときには、教師を頼ることが多い。(観察・教師間の情報)

### 考察

自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりして、折り合いを付ける経験をしてほしい。そのために、友達との関わりをつなぐ援助が必要!



### 情報収集

D児は、一人で遊ぶことが多く、教師との関わりを好む。

### 考察

(観察・写真・教師間の情報)  
教師と関わることで、気持ちが安定することが多い。そのために、教師との信頼関係の基、友達との関わりがもてるような援助が必要!



### 事例1 かっこいいギターを作りたい

先生、どうやったら、輪ゴムが取れないように付けられるかな。



B児に教えてもらおうか。

ゴムが付かないんだよ。



ここを、テープで止めればいいんじゃない。

やってみるよ。教えてくれてありがとう!

#### その日の学級での振り返りの時間

A児：輪ゴムの付け方を教えてもらえて嬉しかった。

C児：ギター、かっこよかった!

A児は、自分が最後まで作り上げたことを認めってもらったり、友達の優しさに触れたりすることが、友達と関わることの楽しさを感じることができた。



### 事例2 段ボールロボットに、僕もなりたい

段ボールで、何をしているんだろう。



E児の遊んでいることに興味をもったのかな。段ボールを渡してみよう。

僕も段ボールロボになったよ。一緒に嬉しいな。



#### その後の様子

片付けの時間に、D児は、E児が何をしているか気にしていた。E児は当番のため、給食の準備をしていた。D児：給食のとき、隣に座ってもいい? E児：いいよ!

D児は、友達と一緒に段ボールロボになって遊んだことが楽しかったことから、友達を意識するようになってきた。



## 成果

- 写真や他の教師からの情報によって、保育中には把握できなかった幼児の姿の意味や内面を知ることができた。
- 収集した情報を日案や記録簿等に整理し考察したことで、より細かく幼児の実態把握ができ、幼児の興味・関心を探ったり変容を見取ったりするために有効であった。

## 課題

- 情報収集と他の教師との連携を密に図るための時間や場の確保が必要である。また、収集した情報に基づいた幼児の見取りや環境の構成、援助が適切であったか、教師間で考察や実践結果について共有していけるとよい。